

医療と物語

責任者・コーディネーター	外国語学科英語分野 柳谷 千枝子 講師		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野、緩和医療学科、救急・災害医学講座、臨床遺伝学科、教養教育センター		
担当教員	柳谷 千枝子 講師、木村 祐輔 特任教授、眞瀬 智彦 教授、山本 佳世乃 講師、佐藤 洋一 非常勤講師、平林 香織 非常勤講師、熊谷 治子 非常勤講師		
対象学年	1	区分・時間数	講義 10 コマ 15 時間
期間	後期		演習 0 コマ 0 時間 実習 0 コマ 0 時間

・学修方針（講義概要等）

医学と医療の違いを考え、人間関係に基づく医療行為を理解するために、近代科学と対極にある物語の世界について考える。医療現場では、細胞や組織、臓器が病気に侵されたときにどのように変化したかを見極める病理診断によって治療が行われる一方で、臨床疫学的な見地と個々の症例を結びつけたエビデンス・ベイスト・メディスン（EBM 科学的根拠に基づく医療）と医療面接において病について語る患者のストーリーから病の原因と治療方法を探るナラティブ・メディスン（物語と対話に基づく医療）の両面から病を考えることが行われている。

本講義では文学の物語享受の有り方を通して、本学附属病院ならびに災害医療センターの臨床医、学内外の専門家の協力を仰ぎながら、病のストーリーを受容するための基本姿勢を学修する。文学においては、とりわけ「死」や「痛み」をテーマとする作品を精読し、グループワークやディスカッションを通して、生きることと死ぬことの意味を自分に問いかける。

・教育成果（アウトカム）

文学がときに病と密接に関わりながら創造されてきたことを理解し、医療現場における病者の物語、病の物語、医療従事者の物語に対する問題意識を持つ。文学の韻律や象徴の技法を学ぶことによって、文学を読み解くように病者や病の現実を受容するアプローチの可能性を理解する。また、臨床現場における最新の知見や症例における物語的側面に意識を向け、誠の医療人として地域での医療体験実習や臨床実習に臨む心構えを形成する。様々な物語を読むことによって、自分自身の人生、他者との関わり、医療人としての立場におけるナラティブを考え続けるためのビジョンを形成する。（ディプロマポリシー：1、3、4）

・到達目標（SBO）

1. 医学と医療の違いについて説明することができる。
2. 物語とは何かということを説明することができる。
3. ナラティブ・メディスンとナラティブ・ベイスト・メディスン、エビデンス・ベイスト・メディスンの違いを説明できる。
4. テキスト内のメタファーが開くナラティブ・コンピテンシーについて理解することができる。
5. 臨床現場における病と治癒を媒介するナラティブ・アプローチに目を向けることができる。
6. 多くのテキストを味読することによって、死と生、痛みや苦しみについてより深く思いをいたす。

・ 講義日程

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
9/5	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 講師	<p>授業ガイダンス、「ナラティブ・メディスンと Graham Greene 小説の中の病者」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ナラティブ・メディスンの概要および文学との関連性について理解できる。 2. A. Kleinman の病いの定義について理解し、説明できる。 3. G. Greene の作品に描かれている病める者特有の表情や行動を分析し、説明できる。 <p>事前学修：ナラティブ・メディスンの定義について調べる。</p>
9/12	木	2	緩和医療学科	木村 祐輔 特任教授	<p>治療の物語—臨床における緩和ケア</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 緩和医療の現場における治療とケアの実際について理解できる。 2. 病に罹患した患者や家族の苦悩を理解し、医療人としての自身の役割、あり方を考えることができる。 <p>事前学修：緩和ケアとは何かについて調べておく。</p>
9/19	木	2	救急・災害医学講座	眞瀬 智彦 教授	<p>災害医療の歴史と東日本大震災での医療活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害医療の歴史について理解できる。 2. 東日本大震災での医療活動の実態について説明できる。 3. 東日本大震災以降の大規模災害での医療活動を理解できる。 <p>事前学修：災害と災害時の医療活動について調べておく。</p>
9/26	木	2	教養教育センター	平林 香織 非常勤講師	<p>『源氏物語』 「空蝉巻（うつせみのまき）」のナラティブを考える</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 『源氏物語』のポリフォニックな語りにも耳をかたむけることができる。 2. 文学作品読解の方法が、医療におけるナラティブ理解に応用できることを理解できる。 <p>【グループワーク】</p> <p>事前学修：日常生活における自分の話し方や聞き方のスタイルの特徴について考える。</p>

10/17	木	2	教養教育センター	熊谷 治子 非常勤講師	<p>「病」と「死」の物語—T. S. エリオット原作ミュージカル『キャッツ』と「うつろな人々」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. T. S. エリオットの詩の物語性を理解できる。 2. T. S. エリオットの詩から「病」と「死」について理解し、説明できる。 <p>事前学修：T. S. エリオット原作のミュージカル『キャッツ』のあらすじを調べておく。</p>
10/24	木	2	教養教育センター	佐藤 洋一 非常勤講師	<p>文学とエンタメにみる医科学の歴史—フランケンシュタインとファウストを例にして</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知識の間違った応用（非倫理的な応用）の例を述べるができる。 2. 知識を無限大にふやすことの是非を論じることができる。 3. 科学の進歩が必ずしも人類の平和をもたらすわけでは無いことを踏まえ、倫理的な応用について持論を展開できる。 <p>事前学修：授業中、インターネットクリッカーを使用する。</p>
10/31	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 講師	<p>ビブリオバトル（クラスマッチ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分が選んだ作品についてその魅力を分かりやすく伝えることができる。 2. ビブリオバトルを行うことで、論理的思考能力を身に付けることができる。 3. 質疑応答やジャッジを通じて自身の発表に関する改善点を挙げるができる。 <p>事前学修：My Biblio を選んで期日までにコンテンツシートを作成、提出する。</p>
11/7	木	2	臨床遺伝学科	山本 佳世乃 講師	<p>遺伝性疾患の物語—臨床におけるナラティブ・カウンセリング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 遺伝性疾患をもつ患者・家族の語りから「病い」の経験の多様性を理解できる。 2. 聞き手が語り手に及ぼす影響を体験し、理解できる。 <p>事前学修：遺伝カウンセリングの定義を調べる。</p>
11/14	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 講師	<p>ビブリオバトル（ファイナルマッチ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 選出されたバトラーとビブリオバトルを行うことで、幅広い書籍情報を共有できる。 2. 質疑応答やジャッジを通じて自身の発表に関する改善点を挙げるができる。 3. 選出されたバトラーの発表を聴いて、自分の考えや意見を論理的に述べるができる。 <p>事前学修：スタナビの「ビブリオバトル」を読み、方法を理解する。</p>

11/21	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 講師	<p>総括、ある患者の物語</p> <p>1. 本講義全体を通して病者の物語、病いの物語、医療従事者の物語を通じて生きることと死ぬことの意味を考察し、意見をまとめることができる。</p> <p>2. 命に関わる病いの患者の物語を読み、彼らの感情のプロセスを読み解くことができる。</p> <p>3. 患者が抱える様々な苦痛を読み解き、理解することができる。</p> <p>事前学修: 講義資料やリアクションペーパーをもとに全体を通して印象に残ったキーワードを挙げ、医療と物語の関係性について自分の考えを整理する。全人的苦痛（トータルペイン）について復習する。</p>
-------	---	---	------	-----------	---

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	ナラエビ医療学講座	齋藤 清二	北大路書房	2011
参	<i>Narrative Medicine</i>	Rita Charon	Oxford UP	2008
参	<i>Narrative Based Medicine</i>	Trisha Greenhalgh & Brian Hurwitz	BMJ Books	2004
参	史上最高に面白いファウスト	中野 和朗	文藝春秋	2016
参	フランケンシュタイン（光文社古典新訳文庫）	シェリー	光文社	2010
推	音楽と絵画で読む T.S.エリオット	熊谷 治子	彩流社	2018

・成績評価方法

<p>1. 期末レポート: 50%</p> <p>2. リアクションペーパー: 30%</p> <p>3. 受講態度（事前学修、グループワーク・ディスカッション、ビブリオバトル等への積極的参加など）: 20%</p>
--

・特記事項・その他

1. 本講義では、文学作品・映像・音楽を用いたナラティブ（物語）に関するグループワーク、ディスカッションおよびプレゼンテーション（ビブリオバトル）を行う機会を設ける。
2. 9月26日および10月17日は、Zoomでのオンライン講義とする。
3. 一部、「医療と法律」、「パーソナリティ心理学」の他科目と連携してビブリオバトルを実施する。
4. 講義内容をもとに、毎回リアクションペーパーを書いて提出することとする。
5. リアクションペーパーは採点の上、返却する。
6. 事前学修として、講義で取り上げる作品や作家、主要テーマについて調べておくこと。また、参考書や推薦図書を一読することが望ましい。事前・事後学修には30分～40分程度を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型PC Panasonic CF-J9	1	講義資料の提示
講義	エルモ書画カメラ	1	講義資料の提示
講義	DVDプレーヤー	1	講義資料の提示
講義	BD/DVDプレーヤーLogitec LBD-PUB6U3VWH	1	講義資料の提示
講義	BD/DVDプレーヤーLogitec LBD-PUB6U3VWH	1	講義資料の提示